

I 平成29年度事業報告

1 会員の異動

平成30年3月31日現在の会員数は下表のとおりである。

府県別 会員別	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	近畿以外	合 計
個人会員	19(0)	36(-2)	28(+2)	38(-4)	14(+1)	40(+1)	19(-2)	194(-4)
単 協	1(0)	6(0)	1(-1)	2(-2)	0(0)	1(0)	0(0)	11(-3)
中央会	13(0)	5(0)	22(+2)	32(-1)	10(+1)	15(+3)	0(0)	97(+5)
連 合 会	0(0)	17(0)	1(0)	1(-1)	3(0)	23(-2)	0(0)	45(-3)
府 県 庁	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
大 学 等	5(0)	7(-2)	4(+1)	3(0)	1(0)	1(0)	19(-2)	40(-3)
団体会員	13(0)	8(0)	13(0)	13(0)	3(0)	10(0)	16(-1)	76(-1)
単 協	9(0)	4(0)	9(0)	9(0)	1(0)	6(0)	0(0)	38(0)
中・連合会	4(0)	4(0)	4(0)	4(0)	2(0)	4(0)	0(0)	22(0)
全 国 連	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)	5(0)
准 会 員	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	11(-1)	11(-1)
合 計	32(0)	44(-2)	41(+2)	51(-4)	17(+1)	50(+1)	35(-3)	270(-5)

注) () 内は、前年度末会員数との増減を示す。

2 平成29年度に開催した研究例会・研究大会

当初の事業計画のとおり、研究例会2回および研究大会を開催した。

今年度の研究会は、年間統一テーマを『『創造的自己改革』の実践と課題』として、農協改革集中推進期間（～平成31年5月）が迫るなか、「農協改革」をめぐる新しい情勢を踏まえつつ、「創造的自己改革」の着実な実践に資する研究会活動を展開するとして取り組んだ。

研究例会の具体的なテーマとして、組合員との対話と農業者の所得増大の具体策について取り上げた。研究大会では、「農協改革」の焦点になりつつある信用事業譲渡・代理店化や新たな農協合併の動きに着目し、総合事業の必要性とその強みを活かした総合JAの未来像をめぐって研究・討議した。

(1) 研究例会

回数	開催月日 開催場所	研究会テーマおよび 座長とコメンテーター	報告テーマと報告者	出席 者数
第1回 例会 通算第 257回 研究会	平成29年 7月25日 (火) 神戸市 兵庫県 農業会館	「こう進める『組合員との徹底的な話し合い』による自己改革」 (座長) 神戸大学名誉教授 高田 理 氏 (コメンテーター) 滋賀県農業協同組合中央会 地域くらし対策部長 山敷 一雄 氏 滋賀県立大学 環境科学部 教授 増田 佳昭 氏	報告Ⅰ 「JA自己改革の評価と課題－組合員との話し合いを今、どう進める－」 広島大学大学院 生物圏科学研究科 助教 小林 元 氏 報告Ⅱ 「わがJAの多様な意思反映システム構築への取り組み－自己改革は、JA変革のチャンス！－」 兵庫県 兵庫南農業協同組合 総務部 部長 野村 隆幸 氏	74名
第2回 例会 通算第 258回 研究会	平成29年 10月26日 (木) 和歌山市 和歌山県 JAビル	「こう進める 農業者の所得増大」 (座長) 岡山大学大学院 環境生命科学 研究科 教授 小松 泰信 氏 (コメンテーター) 奈良県農業協同組合 営農振興部 部長 南田裕次郎 氏 京都大学大学院 農学研究科 特定助教 川崎 訓昭 氏	報告Ⅰ 「『農業者の所得増大』の決め手は何か」 滋賀県立大学名誉教授 小池 恒男 氏 報告Ⅱ 「わがJAの営農経済事業改革の取り組み経過と課題－農業者の所得増大に向けて－」 和歌山県 紀州農業協同組合 代表理事専務理事 芝 光洋 氏	90名

(2) 研究大会

回数	開催月日 開催場所	研究会テーマおよび 座長とコメンテーター	報告テーマと報告者	出席 者数
29年度 大会 通算第 259回 研究会	平成30年 2月2日 (金) 大阪市 エル・お おさか	『創造的自己改革』でどう描 く 総合JAの未来像」 (座長) 関西大学 経済学部 教授 榎原 正澄 氏 (コメンテーター) 大阪南農業協同組合 営農指導部 部長 井之上佳嗣 氏 京都大学大学院 農学研究科 教授 辻村 英之 氏	報告Ⅰ 「農協改革の新段階と総合農協の 未来像－農協合併の新たな動き に着目して－」 横浜国立大学・大妻女子大学名 誉教授 田代 洋一 氏 報告Ⅱ 「JAとびあ浜松の自己改革と今 後の取り組み」 静岡県 とびあ浜松農業協同組合 代表理事専務 水谷 展久 氏	85名

【参 考】 平成29年度研究例会・研究大会出席者数の内訳

		総 数	近畿内・近畿外別		所属別		
			近畿内	近畿外	単 協	中央会 ・連合会	研究者等
第1回 例会	実 数(人)	74	60	14	23	43	8
	構成比(%)	100.0	81.1	18.9	31.1	58.1	10.8
第2回 例会	実 数(人)	90	87	3	28	54	8
	構成比(%)	100.0	96.7	3.3	31.1	60.0	8.9
大 会	実 数(人)	85	68	17	25	49	11
	構成比(%)	100.0	80.0	20.0	29.4	57.6	12.9
合 計	実 数(人) (1回当たり)	249 (83)	215 (72)	34 (11)	76 (25)	146 (49)	27 (9)
	構成比(%)	100.0	86.3	13.7	30.5	58.6	10.8

3 会報の発行等

(1) 会報の発行

本年度分の会報の発行は下表のとおりである。

会報番号	テ マ	発行年月	発行部数	備 考
257	「こう進める『組合員との徹底的な話し合い』による自己改革」	平成29年10月	330	平成29年度 第1回研究例会記録
258	「こう進める 農業者の所得増大」	平成30年1月	330	平成29年度 第2回研究例会記録
259	「『創造的自己改革』でどう描く 総合JAの未来像」	平成30年4月	330	平成29年度研究大会記録

(2) ホームページの運営

平成26年度から運用しているオリジナルホームページを通じて、例会・大会の開催案内をはじめとする情報発信を行うとともに、各府県農協中央会の協力を得て、近畿地区の四季の風景をトップページに活用し、魅力あるページづくりを行った。その結果アクセス件数は18,048件であった。

4 研究会運営記録

開催月日	会 議 名	会 場	報 告 お よ び 協 議 事 項
平成29年 5月9日(火)	第1回 事務局会議 出席：9名	滋賀県農業教育情報センター	①事務局の役割分担と主要業務について ②第1回運営委員会の出欠報告状況について ③運営委員の変更について ④平成28年度事業報告（素案）について ⑤平成28年度収支決算報告（素案）について ⑥平成29年度事業計画（素案）について ⑦平成29年度予算計画（素案）について ⑧第1回研究例会開催要領（素案）について ⑨ホームページのスライド画像の更新について
5月16日(火)	第1回 運営委員会 出席：22名 〔うち、 委：10名 代：4名〕	滋賀県農業教育情報センター	①運営委員の変更について ②平成28年度事業報告（案）の承認について ③平成28年度収支決算報告（案）の承認について ④監事の意見について ⑤平成29年度事業計画（案）の承認について ⑥平成29年度予算計画（案）の承認について ⑦第1回研究例会開催要領（案）について

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
6月30日(金)	—	—	第1回会費の納入期限 近畿府県中央会・連合会個人会員取りまとめ期限
7月18日(火)	第2回事務局会議 出席：9名	滋賀県農業教育情報センター	①会員の異動について ②第1回研究例会の参加申し込み状況について ③第1回研究例会の運営について ④第2回運営委員会の出欠報告状況について ⑤運営委員の変更について ⑥第2回研究例会の開催要領の検討について ⑦ホームページのスライド画像の更新について
7月25日(火)	第1回研究例会	兵庫県農業会館	テーマ「こう進める『組合員との徹底的な話し合い』による自己改革」
	第2回運営委員会 出席：22名 〔うち、 委：13名 代：4名〕	兵庫県農業会館	①第1回研究例会の参加者数について ②会員の異動について ③運営委員・事務局等の変更について ④第2回研究例会の開催要領（案）について
7月31日(月)	—	—	第2回会費の納入期限 (近畿地区中央会・連合会個人会員)
9月29日(金)	—	—	会費の納入督促（第1回）
10月16日(月)	第3回事務局会議 出席：9名	滋賀県農業教育情報センター	①会員の異動について ②第2回研究例会の参加申し込み状況について ③第2回研究例会の運営について ④第3回運営委員会の出欠報告状況について ⑤運営委員の変更について ⑥研究大会の開催要領の検討について ⑦役員改選について ⑧ホームページのスライド画像の更新について
10月26日(木)	第2回研究例会	和歌山県JAビル	テーマ「こう進める 農業者の所得増大」
	第3回運営委員会 出席：22名 〔うち、 委：10名 代：2名〕	和歌山県JAビル	①第2回研究例会の参加者数について ②会員の異動について ③運営委員等の変更について ④研究大会の開催要領（案）について ⑤役員改選について

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
平成30年 1月22日(月)	第4回事務局 会議 出席：8名	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①会員の異動と単協加入状況について ②会費の納入状況について ③会報の発行状況について ④研究大会の参加申し込み状況について ⑤WEBサイトへのアクセス状況について ⑥研究大会の運営について ⑦役員改選について ⑧顧問・運営委員アンケートについて ⑨ホームページのスライド画像の更新について
1月31日(水)	—	—	会費の納入督促(第2回)
2月2日(金)	研究大会	エル・おおさ か	テーマ『『創造的自己改革』でどう描く 総合J Aの未来像』
	第4回運営委 員会 出席：22名 〔うち、 委：11名 代：0名〕	エル・おおさ か	①研究大会の参加者数について ②会員の異動について ③会費の納入状況について ④会報の発行状況について ⑤役員改選について ⑥顧問・運営委員アンケートの実施について
3月7日(水)	第5回 事務局会議 出席：8名	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①平成29年度事業報告(素案)について ②平成29年度決算報告(素案)について ③ホームページのスライド画像の更新について ④役員改選等について ⑤顧問・運営委員アンケート結果について ⑥研究例会・大会参加者アンケート結果について
4月9日(月)	監事監査	J A全農京都 仮事務所	平成29年度事業報告(案)・収支決算報告(案) の監査並びに帳簿等の監査
		J Aビル滋賀	

注1) 運営委員会の定足数は、定数22名の過半数である。

注2) 運営委員会の出席者数は、顧問・監事・事務局長を除いた運営委員のみの出席者数(委任状及び代理出席を含む)を示している。また、()内の「委」は委任状を、「代」は代理出席を表している。

Ⅱ 平成29年度収支決算報告

1 収支決算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(1) 収入の部

(単位：円)

	予算額 (a)	決算額 (b)	比較増減額 (b-a)	摘要
会費	3,104,000	3,078,000	-26,000	
全国連会費	440,000	440,000	0	注1) 参照
府県連会費	1,100,000	1,100,000	0	注2) 参照
単協会費	652,000	652,000	0	注3) 参照
個人会費	792,000	776,000	-16,000	注4) 参照
准会員会費	120,000	110,000	-10,000	注5) 参照
会報頒布収入	20,000	4,000	-16,000	
資料代収入	500,000	585,000	85,000	
雑収入	1,000	16	-984	注6) 参照
前年度繰越金	718,995	718,995	0	
合計	4,343,995	4,386,011	42,016	

注1) 110,000円×1団体、100,000円×1団体、90,000円×1団体、70,000円×2団体

注2) 50,000円×22団体(府県連12+府県本部10)

注3) 36,000円×1団体、25,000円×1団体、18,000円×5団体、15,000円×1団体、
12,000円×3団体、農業開発研修センター会費助成450,000円(27団体)

注4) 4,000円×194名

注5) 10,000円×11団体

注6) 貯金利息16円

(2) 支出の部

(単位：円)

	予算額 (a)	決算額 (b)	比較増減額 (b-a)	摘要
研究例会費	700,000	637,329	-62,671	
会場費	160,000	136,064	-23,936	会場借上料
交通費	250,000	251,940	1,940	座長、報告者等の交通費等
通信費	40,000	41,920	1,920	開催通知発送費
印刷費	180,000	134,568	-45,432	開催通知、レジュメ等の印刷費
雑費	70,000	72,837	2,837	参加者飲料代等
研究大会費	450,000	377,410	-72,590	
会場費	100,000	68,740	-31,260	会場借上料
交通費	200,000	199,320	-680	座長、報告者等の交通費等
通信費	30,000	15,730	-14,270	開催通知発送費
印刷費	80,000	73,440	-6,560	開催通知、レジュメ等の印刷費
雑費	40,000	20,180	-19,820	参加者飲料代等
運営委員会費	70,000	48,740	-21,260	
委員交通費	50,000	41,460	-8,540	
会議費	20,000	7,280	-12,720	会場借上料
会報費	1,010,000	890,918	-119,082	
印刷費	600,000	497,918	-102,082	
原稿整理費	180,000	180,000	0	60,000×3回
編集校正費	150,000	150,000	0	50,000×3回
執筆原稿費	80,000	63,000	-17,000	
事務局費	1,720,000	1,649,820	-70,180	
交通費	100,000	112,300	12,300	農業開発研修センター事務局員等の交通費
通信費	150,000	135,271	-14,729	会報発送等の通信費、HP運営費
印刷費	80,000	62,586	-17,414	事業報告・計画書等の印刷費
事務委託費	1,290,000	1,290,000	0	農業開発研修センターへの支払い事務委託費
会議費	50,000	21,000	-29,000	事務局会議の会場代等
雑費	50,000	28,663	-21,337	監査経費等
雑損	0	8,000	8,000	
予備費	393,995	0	-393,995	
合計	4,343,995	3,612,217	-731,778	

(3) 次年度繰越金 (単位：円)

収入の部合計	4,386,011
支出の部合計	3,612,217
次年度繰越金	773,794

2 貸借対照表

平成30年3月31日現在
(単位：円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	0	未 払 金 ^{注2)}	213,659
J A京都信連 普 通 預 金	210,978	前 受 金	4,000
J A滋賀信連 普 通 預 金	765,815	次 年 度 繰 越 金	773,794
ゆうちょ銀行 振 替 口 座	6,660		
未 収 金 ^{注1)}	8,000		
合 計	991,453	合 計	991,453

注1) 未収金……………平成29年度個人会費 8,000円

注2) 未払金……………研究大会費通信費 1,577円
会報費 印刷費 (会報No.259) 200,000円
事務局費 通信費 12,082円

監事の意見書

平成29年度の事業報告および収支決算報告書につき、平成30年4月9日に監査を行いました結果、事業運営は適切に行われ、収支決算についても、その内容は適正に処理されていることを認めます。

平成30年4月9日

監 事 平 井 英 雄 ㊟

監 事 山 田 保 ㊟

Ⅲ 平成30年度事業計画

1 基本方針

(1) 研究例会及び研究大会の開催

① 年間統一テーマ及び研究会テーマ

年間統一テーマは「自己改革の総括と今後の改革課題」として、「農協改革集中推進期間」の期限（平成31年5月）や「農協改革」をめぐる新しい情勢を踏まえつつ、自己改革の総括とともに、経営環境の激変に対応した今後の改革方向をめぐって研究会活動を展開する。

具体的には、2回開催する例会では、自己改革の検証と全組合員調査、JA経営と信用事業分離問題を取り上げる。また研究大会では、現局面における「農協改革」の諸論点や経営環境の変化を踏まえて、自己改革の総括とともに、今後の改革方向について幅広く研究・討議する。

なお、研究会の具体的な持ち方については、開催府県の意向にも配慮しつつ、運営委員会での慎重審議により決定する。

② 研究例会の位置付けと開催回数

研究例会は、域内の実践者と研究者からの報告をもとに、会員相互の研究会として運営することを基本とし、今年度も年間2回の開催とする。

③ 研究大会の位置付け

研究大会は、会員内外に当研究会の活動を積極的にアピールする機会として位置付け、その充実に努める。

④ 研究例会・研究大会の運営

例会および大会の開催曜日・時間は参加者アンケート結果等をもとに、今年度も平日の午後1時から午後5時までとする。

また、活発な議論が行われるよう質問票の配布などの討論運営を行う。

(2) 会報の定期発行と内容の充実

① 会報の定期発行

事務局内に編集担当者を置き、会報の定期発行に努める。

② 会報内容の充実

「会員の声」「研究会に参加して」のコーナーを設け、会員参加による会報づくりに努めるとともに、会報の充実に努める。

(3) 組織の拡大と研究成果の普及

① 会員拡大

保管している会報の一部をPR誌として活用して、研究会活動の普及と併せて会員の拡大に積極的に努める。また、研究会開催案内やさまざまな機会を通じて、会員拡大に努める。

② 研究例会・研究大会開催案内等の充実

研究例会・研究大会の開催案内をスムーズに行う。特に、広域合併 J A との連携を密にして、基幹支所等にも開催案内を配布する等、研究会の参加促進を図る。

なお、個人会員に開催案内（所定の葉書）を届ける。

③ 会報頒布

研究例会・研究大会の研究成果を広く普及するために、会報の頒布に努力する。

④ 会員管理

2年を越えて会費未納となっている会員に対しては、会報の送付を停止するとともに、加入意思の確認を行い、会員管理を徹底する。

(4) 会員の意向把握と事務局会議の機能強化

① アンケート調査

研究例会・研究大会の出席者に対するアンケート調査を実施し、出席者の研究会への意向把握を行い、企画・運営に反映させることに努める。

② ホームページによる情報発信

オリジナルホームページを通じて、引き続き例会・大会の開催案内をはじめ研究会活動の情報発信を行う。

③ 事務局会議の拡充と機能強化

事務局会議の定期開催に努め、事務局会議の機能強化と業務の円滑化を図る。

本年度も引き続き、各府県中央会および一般社団法人農業開発研修センターの協力を求める。

2 実施計画

(1) 研究例会の開催

☆年間統一テーマ「自己改革の検証と今後の改革課題」

回次	開催月日	テーマ（仮題）	会場
第1回研究例会 （通算第260回）	平成30年 7月27日（金）	自己改革を検証する	奈良市
第2回研究例会 （通算第261回）	平成30年 11月2日（金）	信用事業分離問題を考える	大津市

注）第1回研究例会のテーマは第1回運営委員会において、第2回研究例会のテーマは第2回運営委員会において、決定する。

(2) 研究大会の開催

開催月日	会場	テーマ（仮題）	備考
平成31年 1月28日（月）	京都市	自己改革の実践・総括と今後の改革方向を 考える	通算262回研究会

注）研究大会のテーマは第3回運営委員会において、決定する。

(3) 会報の発行予定

会報No.	発行予定年月	発行予定部数	備考
260	平成30年 10月下旬	330部	平成30年度第1回研究例会記録
261	平成31年 2月上旬	330部	平成30年度第2回研究例会記録
262	平成31年 4月下旬	330部	平成30年度研究大会記録

IV 平成30年度予算計画

1 収入の部

(単位：円)

	予算額	摘要	前年度予算額
会費	3,078,000		3,104,000
全国連会費	440,000	注1) 参照	440,000
府県連会費	1,100,000	注2) 参照	1,100,000
単協会費	652,000	注3) 参照	652,000
個人会費	776,000	注4) 参照	792,000
准会員会費	110,000	注5) 参照	120,000
会報頒布収入	20,000		20,000
資料代収入	500,000	注6)	500,000
雑収入	1,000	貯金利息等	1,000
前年度繰越金	773,794		718,995
合計	4,412,294		4,343,995

注1) 110,000円×1団体、100,000円×1団体、90,000円×1団体、70,000円×2団体

注2) 50,000円×22団体（府県連12+府県本部10）

注3) 36,000円×1団体、25,000円×1団体、18,000円×5団体、15,000円×1団体、
12,000円×3団体、農業開発研修センター会費助成450,000円

注4) 4,000円×194名

注5) 10,000円×11団体

注6) 資料代単価は、個人会員2,000円、団体会員3,000円、非会員5,000円

2 支出の部

(単位：円)

	予算額	摘要	前年度予算額
研究例会費	700,000		700,000
会場費	160,000	2回分の会場借上料	160,000
交通費	250,000	座長・報告者等の交通費等	250,000
通信費	40,000	開催通知発送費	40,000
印刷費	180,000	開催通知・レジュメの印刷費	180,000
雑費	70,000	控室会場費等	70,000
研究大会費	500,000		450,000
会場費	150,000	会場借上料	100,000
交通費	200,000	座長・報告者等の交通費等	200,000
通信費	30,000	開催通知発送費	30,000
印刷費	80,000	開催通知・レジュメ印刷費	80,000
雑費	40,000	控室会場費等	40,000
運営委員会費	70,000		70,000
委員交通費	50,000		50,000
会議費	20,000		20,000
会報費	1,010,000		1,010,000
印刷費	600,000	200,000×3回	600,000
原稿整理費	180,000	60,000×3回	180,000
編集校正費	150,000	50,000×3回	150,000
執筆原稿費	80,000		80,000
事務局費	1,720,000		1,720,000
交通費	100,000	事務局員等の交通費	100,000
通信費	150,000	会報発送・事務連絡等の通信費	150,000
印刷費	80,000	事業報告・計画書等の印刷費	80,000
事務委託費	1,290,000	事務局手当・消耗品費・郵券料等	1,290,000
会議費	50,000	事務局会議の会場代等	50,000
雑費	50,000	監査経費等	50,000
予備費	412,294		393,995
合計	4,412,294		4,343,995

V 平成30年度会費基準の設定について

(1) 個人会員	4,000円
(2) 単協会員	
正組合員戸数 3,000戸未満	12,000円
3,000～5,000戸未満	15,000円
5,000～10,000戸未満	18,000円
10,000～30,000戸未満	25,000円
30,000～50,000戸未満	36,000円
50,000戸以上	72,000円
注1) 正組合員戸数は、「平成30年版 都道府県農業協同組合名鑑」(日本農業新聞、平成30年1月)記載の戸数(平成29年11月1日現在)に基づく。	
注2) 一般社団法人農業開発研修センター(以下、センターという。)と近畿農協研究会の会員となっている近畿6府県内JAについては、センターから当研究会への助成により、近畿農協研究会から会費を請求しない。	
(3) 府県団体会員	50,000円
(4) 全国団体会員	別 途
(5) 准会員	10,000円